



プロフィール **中川 恵一** 氏 東京大学医学部附属病院放射線科准教授
 1960年 東京生まれ
 1985年 東京大学医学部医学科卒業、同年東京大学医学部放射線医学教室入室
 1989年 スイスPaul Sherrer Instituteに客員研究員として留学
 1993年 東京大学医学部放射線医学教室助手
 1996年 専任講師
 2002年 准教授
 2003年 東京大学医学部附属病院緩和ケア診療部長(兼任)(2003~2013年)

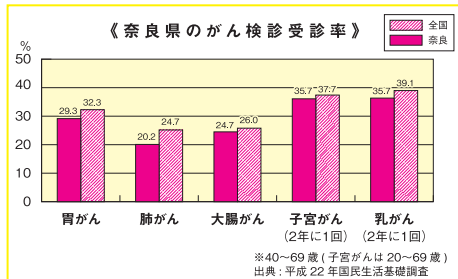
がんの高精度放射線治療が専門。
 英文論文などによる学術発表の他、患者と一般向けの啓蒙活動にも力を入れている。
 駆け込みドクター!運命を変える健康診断[SP](TBS)2014/3/30(日) NEWS ERO(日本テレビ)2011/8/19(金)
 ゆうどきネットワーク(NHK総合)2011/8/4(木) ZIP!(日本テレビ)2011/6/24(金)ほか多数出演
 著作には、「最新版 がんのひみつ」「がんの練習帳」「死を忘れた日本人」「がんのひみつ」など。最近ではテレビなどによる啓蒙活動にも熱心。
 「ひとにやさしい放射線治療」がモットー。その他、新聞連載など活動の幅も広い。

日本人の2人に1人が、がんになり3人に1人が、がんで命を落としています。

奈良県でも、去年亡くなった人の
30.6% が、がんで亡くなっています。
出典：平成23年人口動態統計

いまや、全国で年間およそ
35万人 (死因の3分の1)が、がんで亡くなっています。
出典：平成23年人口動態統計

胃がんの5年相対生存率は、
 検診でがんが発見された場合 **87.8%**
 自覚症状が出てがんが発見された場合 **53.3%**
がん検診は、5年後の生存率を大きく上げます!
出典：がん研究振興財団「がんの統計'05」



がん検診ってどんな検査?
 必ず受けていただきたい
 五大がんの検査方法を紹介します。

1 胃がん
 ●どんな検査?：胃X線検査(バリウム検査)
 ●対象となる年齢：40歳以上
 ●受診の間隔：1年に1回

2 肺がん
 ●どんな検査?：胸部X線検査
 ヘビースモーカーの方には痰の検査
 ●対象となる年齢：40歳以上
 ●受診の間隔：1年に1回

3 大腸がん
 ●どんな検査?：検便(2日間採取)
 ●対象となる年齢：40歳以上
 ●受診の間隔：1年に1回

4 乳がん
 ●どんな検査?：マンモグラフィ検診、視触診
 ●対象となる年齢：40歳以上
 ●受診の間隔：2年に1回

5 子宮頸がん
 ●どんな検査?：内診、子宮頸部細胞診
 ●対象となる年齢：20歳以上
 ●受診の間隔：2年に1回

奈良県の現状は…

死亡原因のトップは“がん”…31.0% “がん”による死亡者は増加の一途…4,046人
 “がん”検診受診率は5がん全てにおいて全国平均を下回っています。

時間がとれない、めんどうだからと避けていませんか?健康だからと安心していませんか?
 “がん”は知らず知らずの内にあなたの体の中で進行している可能性があります。
 あなたとあなたの家族を“がん”から守るため是非ご参加下さい。

詳しくは で

がん検診を受けよう! 奈良県民会議 がんによる死亡率の減少を目指し、行政・地域・企業・団体等が協働して、がん検診の受診率向上への取り組みを進めています。116団体が参画しています。(平成25年10月末現在)

FAX申し込み用紙

代表者氏名	性別	年齢	参加人数
	男性・女性		
	※どちらかに○をおつけください		歳 人
代表者住所 〒	電話番号		
	— —		

FAX 0742-32-2771